



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月5日  
東

上場会社名 川崎化成工業株式会社 上場取引所  
コード番号 4117 URL <http://www.kk-chem.co.jp/>  
代表者 (役職名) 取締役会長 (氏名) 中川 淳一  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部門長 (氏名) 大坪 孝幸 (TEL) 044-540-0110  
四半期報告書提出予定日 平成27年8月5日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	4,231	△6.6	86	—	97	260.8	79	257.7
27年3月期第1四半期	4,532	△1.8	3	—	26	303.2	22	238.0

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 110百万円( 65.4%) 27年3月期第1四半期 66百万円( 59.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	2.06	—
27年3月期第1四半期	0.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	20,586	13,923	67.6
27年3月期	20,593	13,929	67.6

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 13,923百万円 27年3月期 13,929百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,500	△15.4	160	53.5	180	26.7	130	20.4	3.36
通期	16,400	△12.0	270	98.5	310	55.1	270	38.1	6.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期1Q	41,207,730株	27年3月期	41,207,730株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	2,503,132株	27年3月期	2,501,400株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期1Q	38,705,254株	27年3月期1Q	38,710,467株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、企業収益の改善や個人消費の持ち直し等により、景気は総じて緩やかな回復基調で推移したものの、欧州の債務問題など国際的な不安要素も見られました。

このような状況下、当社グループは既存製品の拡販と安全・安定操業に注力することで設備稼働率の維持・向上に努めると共に自らの努力で実現できるロス・ムダの削減、業務改善、固定費削減等の積み重ねによる体質強化に注力してまいりました。加えて、中期経営計画のコンセプトである「機能化学品の川崎化成への進化」に向け、既存の機能化学品の拡販や新規用途分野への展開、新規機能化学品の本格展開等に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高の大部分を占める化学品事業において、機能化学品の販売数量は増加したものの、昨年秋以降の急激な原油安による石油系の原料価格の下落に応じた価格対応により、売上高は4,231百万円（前年同期比300百万円減収・6.6%減）となりました。

損益面では、主に機能化学品の増収効果に加え、設備稼働率の上昇に伴う生産コストの低減等により前年同期に比べ改善し、営業利益は86百万円（前年同期比82百万円増益・2,079%増）、経常利益は97百万円（前年同期比70百万円増益・260.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は79百万円（前年同期比57百万円増益・257.7%増）となりました。

これを事業別に見ますと次のとおりであります。

## ① 化学品事業

## ・有機酸製品

無水フタル酸は、原料価格の下落に応じた価格対応により減収となりました。

その他の有機酸につきましては、コハク酸は販売数量の増加により大幅な増収、フマル酸は販売数量の減少により大幅な減収となりました。

## ・有機酸系誘導品

可塑剤は価格の下落及び数量の減少により大幅な減収、マキシモール®は前年同期並の売上となりました。

## ・キノン系製品

ナフトキノン、農薬原体アセキノシルは販売数量の増加により大幅な増収、パルプ蒸解助剤SAQ®は販売数量の増加により増収、アントラキノン、脱硫触媒NQS®は前年同期並の売上となりました。

以上の結果、化学品事業全体としての売上高は4,210百万円（前年同期比303百万円減収・6.7%減）、営業利益は87百万円（前年同期比86百万円増益・11,101%増）となりました。

## ② その他の事業

その他の事業につきましては、売上高は20百万円（前年同期比2百万円増収・15.9%増）、営業損失は2百万円（前年同期は2百万円の営業利益）となりました。

なお、エア・ウォーター株式会社による当社普通株式に対する公開買付けの成立により、本年6月24日をもって、当社は同社の連結子会社となりました。今後はエア・ウォーターグループの一員として同社との連携を深め、双方の事業の根幹を成す経営基盤、事業ノウハウ、経営資源等を相互に提供・活用するシナジーにより、更なる成長と発展を目指してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は20,586百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少いたしました。

流動資産は、主に短期貸付金は減少しましたが、現金及び預金、有価証券並びにたな卸資産の増加により、前連結会計年度末に比べ44百万円増加し、10,195百万円となりました。

固定資産は、主に減価償却による有形固定資産の減少により、前連結会計年度末に比べ51百万円減少し、10,391百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は6,663百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少いたしました。

流動負債は、主に賞与引当金は減少しましたが、支払手形及び買掛金の増加により、前連結会計年度末に比べ8百万円増加し、3,810百万円となりました。

固定負債は、主に役員退職慰労引当金の減少により、前連結会計年度末に比べ9百万円減少し、2,852百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は13,923百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少いたしました。

株主資本は、主に配当金の支払により、前連結会計年度末に比べ36百万円減少し、10,176百万円となりました。

その他の包括利益累計額は、主に保有株式の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加により、前連結会計年度末に比べ30百万円増加し、3,747百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本年5月14日に発表いたしました連結業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	175	617
受取手形及び売掛金	4,423	4,568
有価証券	-	2,000
商品及び製品	1,799	2,130
仕掛品	144	250
原材料及び貯蔵品	432	449
短期貸付金	3,048	-
その他	127	178
流動資産合計	10,150	10,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,774	1,744
機械装置及び運搬具(純額)	1,581	1,474
土地	5,862	5,862
その他(純額)	157	213
有形固定資産合計	9,376	9,293
無形固定資産	110	105
投資その他の資産	956	992
固定資産合計	10,443	10,391
資産合計	20,593	20,586
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,221	2,338
短期借入金	100	100
未払法人税等	39	26
賞与引当金	181	72
修繕引当金	79	132
その他	1,179	1,141
流動負債合計	3,801	3,810
固定負債		
リース債務	41	53
再評価に係る繰延税金負債	1,541	1,541
繰延税金負債	222	232
役員退職慰労引当金	77	50
退職給付に係る負債	747	740
資産除去債務	232	233
固定負債合計	2,862	2,852
負債合計	6,664	6,663

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,282	6,282
資本剰余金	2,549	2,549
利益剰余金	1,783	1,747
自己株式	△402	△402
株主資本合計	10,212	10,176
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	419	445
土地再評価差額金	3,245	3,245
退職給付に係る調整累計額	51	56
その他の包括利益累計額合計	3,716	3,747
純資産合計	13,929	13,923
負債純資産合計	20,593	20,586



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	4,532	4,231
売上原価	4,033	3,638
売上総利益	498	592
販売費及び一般管理費	494	506
営業利益	3	86
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	11	13
固定資産賃貸料	13	13
その他	3	3
営業外収益合計	28	30
営業外費用		
支払利息	0	0
固定資産処分損	3	15
固定資産除却損	2	2
その他	0	0
営業外費用合計	5	19
経常利益	26	97
税金等調整前四半期純利益	26	97
法人税、住民税及び事業税	4	17
法人税等調整額	0	△0
法人税等合計	4	17
四半期純利益	22	79
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	22	79

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	22	79
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	25
退職給付に係る調整額	8	5
その他の包括利益合計	44	30
四半期包括利益	66	110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66	110
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2
	化学品事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,514	17	4,532	—	4,532
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	28	28	△28	—
計	4,514	45	4,560	△28	4,532
セグメント利益	0	2	2	1	3

(注) 1. セグメント利益の調整額1百万円は、グループ内設備取引に係る未実現利益実現等によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2
	化学品事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,210	20	4,231	—	4,231
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	26	26	△26	—
計	4,210	47	4,258	△26	4,231
セグメント利益又は損失(△)	87	△2	85	0	86

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額0百万円は、グループ内設備取引に係る未実現利益実現等によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。